



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者 (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長兼財務経理部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,076	21.2	△33	—	△47	—	△87	—
28年3月期第1四半期	5,012	△0.5	△165	—	△179	—	△158	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △97百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △167百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△2.57	—
28年3月期第1四半期	△4.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	12,419	2,196	7.3
28年3月期	12,707	2,402	8.4

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 906百万円 28年3月期 1,069百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
28年3月期	—	0.00	—	2.00	円 銭	2.00
29年3月期	—	—	—	—	円 銭	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	円 銭	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,400	19.0	△120	—	△125	—	△150	—	△4.41
通期	26,700	12.2	360	36.3	340	37.3	180	193.0	5.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	34,497,058 株	28年3月期	34,497,058 株
29年3月期1Q	456,866 株	28年3月期	456,866 株
29年3月期1Q	34,040,192 株	28年3月期1Q	34,481,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算説明の資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、円高の進行による企業収益の悪化懸念や海外景気の下振れリスク、株式市場の低迷等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループでは、M&Aの積極推進により事業規模拡大を目指しており、前期において和装宝飾事業及び卸売事業で新たな連結子会社を加えることとなりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、新規子会社の寄与もあり、売上高は60億76百万円（前年同四半期比21.2%増）、営業損失は33百万円（前年同四半期は営業損失1億65百万円）、経常損失47百万円（前年同四半期は経常損失1億79百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失87百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億58百万円）となりました。

当社グループのセグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### 1) 「美容事業」

美容事業におきましては、競合店の増加が続く厳しい事業環境が続く中で集客強化を図るため、DM等販促活動の効率化、前下期に設置した研修センターでのスタッフの技術・サービスレベルの向上教育強化、お客様に快適に過ごしていただくための店舗づくりに努めてまいりました。これ等の顧客固定化施策により、再来率は改善し、客数減の一定の歯止めは掛かってきておりますが、新規顧客獲得までには至らず、売上高は減少しました。

なお、平成28年6月30日現在の店舗数は、直営101店舗、FCは5店舗となっております。

この結果、売上高は5億52百万円（前年同四半期比6.7%減）となり、セグメント損失3百万円（前年同四半期はセグメント利益3百万円）となりました。

#### 2) 「スポーツ事業」

スポーツ事業におきましては、ドミナント戦略による収益強化に注力すべく、主力の中国地方に1店舗を新規出店いたしました。中国地方ではウィンター関連商品の販売を主体に店舗展開する中で、新規店舗は通年型店舗とし、新たな収益モデルの構築を目指しております。なお平成28年6月30日現在の店舗数は17店舗となっております。この結果、売上高は6億92百万円（前年同四半期比0.8%減）となり、セグメント損失68百万円（前年同四半期はセグメント損失74百万円）となりました。

#### 3) 「DSM事業」

DSM事業におきましては、平成28年6月30日現在の店舗数は前年同四半期の78店舗から5店舗減の73店舗となり、販売員の減少により売上高が減少しております。一方で、当四半期においてはセイビング会員の休眠顧客に対する掘り起し活動を推進し、販売強化に努めてまいりました。その結果、DSM事業の売上高は5億60百万円（前年同四半期比11.8%減）となり、セグメント利益は0百万円（前年同四半期比89.2%減）となりました。

#### 4) 「和装宝飾事業」

和装宝飾事業におきましては、前期新たに子会社化した株式会社すずのきの業績が順調に推移したこともあり、売上高は25億56百万円（前年同四半期比71.3%増）、セグメント利益は28百万円（前年同四半期はセグメント損失38百万円）と、大幅な増収増益となりました。

和装宝飾事業では、M&A戦略による増収増益効果のみならず、既存店舗においても売上高は前年同四半期比で100.7%と堅調に推移しており、更なる収益拡大を目指すため、新規顧客獲得の積極推進及び固定顧客の安定化を図るべく、和装小売店舗3店舗、毛皮小売店舗1店舗で改装・移転を実施いたしました。なお、平成28年6月30日現在の店舗数は、和装小売店舗が98店舗、宝飾小売店舗が1店舗減の19店舗となっております。

#### 5) 「卸売事業」

卸売事業におきましては、前期事業譲受した株式会社吉利が寄与し、売上高は15億32百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。また利益面につきましてもM&Aによる寄与のほか、既存卸売事業において売上総利益率の改善や販売管理費の効率化を図ることで利益の向上に努めたことにより、セグメント利益20百万円（前年同四半期はセグメント損失66百万円）となりました。

#### 6) 「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠撚糸の販売、株式会社ヤマノセイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は、1億81百万円（前年同四半期比9.6%減）となり、セグメント利益1百万円（前年同四半期比72.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2億87百万円減少し124億19百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億45百万円減少、受取手形及び売掛金が2億55百万円減少、商品及び製品が3億27百万円増加、敷金及び保証金が1億75百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて81百万円減少し102億23百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務が60百万円増加、短期借入金が41百万円減少、長期借入金が1億2百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億6百万円減少し21億96百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金87百万円の減少、剰余金の配当68百万円、非支配株主持分42百万円の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、前回(平成28年5月13日付「平成28年3月期 決算短信」にて公表しております。)の内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,917,381	1,772,152
受取手形及び売掛金	2,701,598	2,446,074
電子記録債権	169,360	132,876
商品及び製品	3,666,911	3,994,412
仕掛品	14,290	11,926
原材料及び貯蔵品	56,407	86,768
繰延税金資産	29,009	29,009
その他	339,206	348,591
貸倒引当金	△43,185	△39,806
流動資産合計	8,850,981	8,782,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,906,066	1,951,059
減価償却累計額	△1,339,802	△1,361,659
建物及び構築物(純額)	566,264	589,399
機械装置及び運搬具	13,873	13,873
減価償却累計額	△13,451	△13,468
機械装置及び運搬具(純額)	422	405
工具、器具及び備品	450,296	458,416
減価償却累計額	△403,767	△409,620
工具、器具及び備品(純額)	46,529	48,795
土地	743,633	743,633
リース資産	81,160	82,008
減価償却累計額	△39,963	△44,244
リース資産(純額)	41,197	37,763
有形固定資産合計	1,398,046	1,419,998
無形固定資産		
のれん	237,919	223,852
その他	115,223	108,999
無形固定資産合計	353,142	332,851
投資その他の資産		
投資有価証券	161,051	148,404
長期貸付金	27,682	14,200
繰延税金資産	92,544	91,283
敷金及び保証金	1,591,276	1,415,455
その他	322,817	304,507
貸倒引当金	△90,539	△88,837
投資その他の資産合計	2,104,832	1,885,014
固定資産合計	3,856,021	3,637,864
資産合計	12,707,003	12,419,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,797,134	2,835,192
電子記録債務	495,282	555,318
短期借入金	584,800	543,000
1年内償還予定の社債	36,400	36,400
1年内返済予定の長期借入金	440,444	410,360
未払金	673,339	674,247
前受金	1,829,343	1,818,538
未払法人税等	78,557	29,884
賞与引当金	78,557	100,955
返品調整引当金	29,905	26,684
ポイント引当金	52,008	50,138
株主優待引当金	4,321	4,321
資産除去債務	17,430	5,565
その他	419,689	492,763
流動負債合計	7,537,215	7,583,369
固定負債		
社債	110,200	92,000
長期借入金	2,011,190	1,908,850
長期末払金	175,687	178,933
繰延税金負債	34,616	30,714
資産除去債務	327,910	333,008
その他	107,384	96,281
固定負債合計	2,766,989	2,639,787
負債合計	10,304,204	10,223,156
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	999,153	843,529
自己株式	△53,008	△53,008
株主資本合計	1,046,145	890,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,079	7,407
為替換算調整勘定	10,935	8,084
その他の包括利益累計額合計	23,015	15,492
非支配株主持分	1,333,638	1,290,699
純資産合計	2,402,798	2,196,712
負債純資産合計	12,707,003	12,419,869



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	5,012,835	6,076,837
売上原価	2,976,232	3,336,312
売上総利益	2,036,603	2,740,524
販売費及び一般管理費	2,201,907	2,774,035
営業損失(△)	△165,303	△33,510
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,724	1,837
受取地代家賃	3,023	3,119
助成金収入	-	8,130
その他	2,450	5,088
営業外収益合計	7,198	18,175
営業外費用		
支払利息	11,153	9,666
手形売却損	687	539
為替差損	2,624	12,523
その他	6,543	9,460
営業外費用合計	21,009	32,189
経常損失(△)	△179,114	△47,524
特別利益		
事業譲渡益	7,890	-
特別利益合計	7,890	-
特別損失		
固定資産除却損	626	0
減損損失	-	907
店舗閉鎖損失	2,955	8,575
特別損失合計	3,581	9,482
税金等調整前四半期純損失(△)	△174,805	△57,007
法人税、住民税及び事業税	13,557	24,893
法人税等調整額	△613	1,563
法人税等合計	12,944	26,456
四半期純損失(△)	△187,749	△83,463
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,832	4,087
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△158,917	△87,551

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△187,749	△83,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,495	△8,871
為替換算調整勘定	142	△5,106
その他の包括利益合計	20,637	△13,977
四半期包括利益	△167,111	△97,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△145,745	△95,075
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,366	△2,366

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月15日 取締役会	普通株式	68,962	2.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月13日 取締役会	普通株式	68,080	2.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	592,597	697,799	635,554	1,492,187	1,393,635
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	23,005
計	592,597	697,799	635,554	1,492,187	1,416,641
セグメント利益又は損失(△)	3,072	△74,543	9,039	△38,166	△66,538

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	4,811,775	201,060	5,012,835	—	5,012,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,005	11,475	34,480	△34,480	—
計	4,834,780	212,535	5,047,316	△34,480	5,012,835
セグメント利益又は損失(△)	△167,136	3,814	△163,322	△1,981	△165,303

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,981千円には、セグメント間取引消去2,238千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,220千円及び棚卸資産の調整額△1,999千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

企業結合会計基準等の適用により、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれんが105,850千円減少しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	DSM	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	552,979	692,595	560,502	2,556,212	1,532,745
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	—	—	—	37,074
計	553,014	692,595	560,502	2,556,212	1,569,820
セグメント利益又は損失(△)	△3,532	△68,170	975	28,057	20,390

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	5,895,035	181,802	6,076,837	—	6,076,837
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37,109	9,813	46,923	△46,923	—
計	5,932,145	191,615	6,123,761	△46,923	6,076,837
セグメント利益又は損失(△)	△22,279	1,055	△21,224	△12,286	△33,510

- (注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△12,286千円には、セグメント間取引消去2,238千円、のれん償却額△11,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,433千円及び棚卸資産の調整額△1,691千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「美容」セグメントにおいて、店舗閉鎖の決定による減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては907千円であります。